

## 会議記録

|                 |  |
|-----------------|--|
| 名称              | 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会  |
| 開催日時            | 令和3年1月25日(月) 13時30分から14時45分まで  |
| 開催場所            | 熊谷衛生センター 2階大会議室  |
| 出席者             | 委員12名、事務局10名   |
| 傍聴人             | 0名   |
| 問い合わせ先<br>(所管課) | 大里広域市町村圏組合 建設準備課<br>電話：048-532-6631  |
| 内容              | <p>第4回大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会</p> <p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 会長あいさつ</b> 河野会長からあいさつ<br/>皆様こんにちは。会長の河野でございます。<br/>令和3年最初の検討委員会となります。<br/>本日は建設候補地についての重要な会議となります。<br/>令和2年度の検討委員会は残り2回となり、本日を含め2回の会議の中で中間答申内容について取りまとめる必要があります。<br/>こういった状況であることから、本日は緊急事態宣言が出されたところではございますが、皆様にお集まりいただきました。<br/>皆様お集まりいただきありがとうございます。<br/>それでは本日もよろしく願いいたします。</p> <p><b>3 議事</b> 大里広域市町村圏組合ごみ処理施設整備基本構想検討委員会条例第6条の規定により会長が議事進行</p> <p>(1) 建設候補地について<br/>(事務局)</p> |

|           |  |
|-----------|--|
| <p>内容</p> | <p>それでは、資料に沿って御説明させていただきます。</p> <p>資料 2 ページを御覧ください。2 ページにお示ししておりますのは、建設候補地決定までの流れです。</p> <p>建設候補地の決定については、検討委員会で適地がどうかの御意見をいただいた上で中間答申をおこない、答申を基に組合管理者が決定することになります。</p> <p>本日の第 4 回検討委員会では、建設候補地提案の経緯説明及び建設候補地事務局案の提案を基に検討委員会において適地がどうかの御意見をいただき、第 5 回検討委員会において中間答申内容について決定いただければと考えております。</p> <p>次に 3 ページを御覧ください。まずは候補地提案に係る経緯について御説明いたします。大里広域市町村圏組合、熊谷市、深谷市、寄居町では、平成 29 年度から新施設について勉強会・構成市町清掃担当課長会議を開催し、行政として、検討委員会の前段階となる検討を進めてきました。ごみ処理施設は市民生活の根幹を成す最重要の施設であり、ごみ処理を安定的・確実に継続していく必要があることから、現在稼働している各センターの長寿命化期間終了後、速やかに新施設を稼働することを行政における共通の認識として検討を行ってまいりました。</p> <p>平成 29 年度から開催した勉強会・構成市町清掃担当課長会議において、施設数及び建設候補地について、各市町内部での検討を踏まえた建設候補地の提案を受けております。意見集約過程の中で提案のあった建設候補地は、熊谷市が別府（現熊谷衛生センター敷地他）、弥藤吾（旧妻沼清掃センター敷地）、大麻生（大里広域クリーンセンター敷地）、深谷市が榎合（現深谷清掃センター隣接地）、東方（民有地）、寄居町は候補地なしでした。</p> <p>この過程において、熊谷市弥藤吾（旧妻沼清掃センター敷地）については、妻沼清掃センターが稼働していた当時には搬入に起因する渋滞が発生したことや敷地が狭いこと、大麻生（大里広域クリーンセンター敷地）についても、敷地が狭く拡張には買収が必要であること、深谷市東方（民有地）については、農地中間管理事業の実施計画地であり、今後 10 年間農地利用計画の変更ができず、また、買収を伴うものであることから、建設候補地から除外されました。</p> |
|-----------|--|

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>第2回検討委員会においては、「2 施設体制」が「1 施設体制」、「3 施設体制」と比較して、マイナス点がなく、基本方針「安全・安心かつ安定的に処理が可能な施設」からも、バランスの取れた体制であると承認を受けました。</p> <p>そこで今回、建設候補地として、別府、榎合について、事務局としての検証を踏まえて、検討委員会に提案いたします。事務局としての検証については、この後御説明させていただきます。</p> <p>次に4ページを御覧ください。大里広域市町村圏組合圏域における別府、榎合それぞれの位置になります。別府については熊谷市に位置し、本日お越しいただいております現熊谷衛生センター敷地を含む土地になります。榎合については深谷市に位置し、現在稼働している深谷清掃センターに隣接する土地になります。</p> <p>5ページを御覧ください。建設候補地として御提案する別府、榎合について、建設候補地として問題点がないか、第2回検討委員会で承認いただいた基本方針に沿って検証しました。</p> <p>次に6ページを御覧ください。基本方針に照らし合わせ、公益社団法人全国都市清掃会議「ごみ処理施設整備の計画・設計要領 2017 改訂版」を参考に、検証すべき項目を設定しております。組合として最重要と考える基本方針である、「安全・安心かつ安定的に処理が可能な施設」に対しては、大前提として施設が建てられるかどうかを検証すべく、土地利用、防災、将来計画、を設定しました。次に、「環境に配慮した施設」については、自然環境を設定しました。次に「効率的なエネルギー回収をする施設」については、関連施設を設定しました。次に「経済性に優れた施設」については、経済性を設定しました。最後に「地域に貢献し、親しまれる施設」については、自然環境、関連施設を設定しました。基本方針に照らし合わせ、検証すべき項目を設定したため、検証項目が重複しているものもあります。</p> <p>次に7ページを御覧ください。ここでは、検証すべき項目、その内容について記載しております。また、検証項目は大別として、その条件を満たさなければそもそもその場所には建てられないというような根本的な条件と、より多く満たすことが望ましい発展的な条件に分類しておりま</p> |
|---------------------------------------|--|

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>す。</p> <p>まず、根本的な条件の検証項目として、土地利用、防災、自然環境を設定し、内容として、土地利用は、都市計画、現況の土地利用について、防災は、液状化想定、想定震度、浸水想定について、自然環境は、保全地区かどうかについて検証しました。</p> <p>次に発展的な条件の検証項目として、将来計画、関連施設、経済性を設定し、内容として、将来計画は、将来計画、地域活性化への貢献について、関連施設は、余熱利用施設の有無について、経済性は、インフラ整備費、幹線道路との近接性について検証しました。</p> <p>それぞれの建設候補地について、検証すべき項目に沿って検証しました。まずは別府についてです。</p> <p>8 ページを御覧ください。別府は熊谷市に位置し、本日皆様にお越しいただいております現熊谷衛生センター敷地を含む土地です。赤枠が都市計画上「ごみ焼却場」として位置づけられている範囲になり、その中には、現熊谷衛生センター第一工場、第二工場、別府農村広場が含まれます。</p> <p>次に9 ページを御覧ください。まず、条件を満たさなければその場所に建てることできない、根本的な条件について検証します。土地利用について別府は「ごみ焼却場」として都市計画決定されている地区であり、現況の土地利用については、熊谷衛生センター敷地及び別府農村広場として利用されています。土地利用について、別府はその場所に建てることできないような要素はなく、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に10 ページを御覧ください。防災について、まず液状化想定については、熊谷市防災ハザードマップにおいて、液状化危険度を「高い」、「やや高い」、「やや低い」、「低い」、「液状化しにくい」という5段階に分けて評価しており、別府は5段階中2番目に危険度が低い評価である「低い」と評価されている場所になります。</p> <p>次に想定震度については、同じくハザードマップにおいて、関東平野北西縁断層帯地震の際の揺れやすさを計測震度で8段階に分けて評価しており、別府は8段階中2番目に揺れにくい評価である計測震度「5.5～5.9」震度6弱と評価されています。</p> |
|---------------------------------------|--|

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>次に浸水想定についてです。熊谷市防災ハザードマップの根拠となっている国土交通省地点別浸水シミュレーションにおいて、別府は約 1.0m～1.5m の浸水が想定される区域とされています。</p> <p>これらのことから、別府は防災について、液状化危険度に応じた対策及び、国土交通省地点別浸水シミュレーション結果を想定した対策を講じることにより、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に 11 ページを御覧ください。自然環境については、保全地区かどうかについて検証しました。別府は、埼玉県自然環境保全条例に基づく県自然環境保全地域に指定されていません。自然環境について、別府はその場所に建てることのできないような要素はなく、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に、より多く満たすことが望ましい発展的な条件について検証します。</p> <p>12 ページを御覧ください。将来計画及び地域活性化への貢献については、熊谷市では、別府小学校区において水浴施設（仮称）アクアピア 2 の新規整備計画があります。隣接した立地となれば、そこに組合施設からの温熱供給などによる相乗的な地域活性化への貢献が期待できます。このことから、別府は将来計画について、発展的な条件を満たすことが期待できます。</p> <p>次に 13 ページを御覧ください。余熱利用施設の有無について、お話したとおり、熊谷市では、別府小学校区において（仮称）アクアピア 2 の新規整備計画がある状況です。将来計画と同様に、別府は関連施設についても、発展的な条件を満たすことが期待できる場所になります。</p> <p>続いて 14 ページを御覧ください。インフラ整備費について、別府は現に熊谷衛生センターが稼働していることから、給水、排水、ガス、通信などのインフラについて、整備されている状況です。幹線道路からの近接性については、片側 2 車線の計 4 車線道路である熊谷バイパス（国道 17 号深谷バイパス）に近接しており、幹線道路との近接性は高く、市町からのアクセスがしやすいことにより、市町の収集運搬費を含めた経済性、利便性が確保されています。このことから、別府は経済性についても、発展的な条件を満たすことが期待できます。</p> |
|---------------------------------------|--|

|    |  |
|----|--|
| 内容 | <p>次に 15 ページを御覧ください。以上の検証及び、熊谷衛生センターが現に稼働していることから、別府については液状化危険度に応じた対策及び、国土交通省地点別浸水シミュレーション結果を想定した対策を講じることにより根本的な条件を満たし、尚且つ発展的な条件を多く満たすことが期待できます。それぞれの項目の検証から、事務局として、建設候補地別府は、建設可能な場所であると判断しました。</p> <p>次に 16 ページより、榎合について同様に検証します。</p> <p>16 ページを御覧ください。榎合は深谷市に位置し、建設候補地は現在深谷清掃センターが稼働する敷地に隣接する土地です。赤枠が都市計画上「深谷衛生処理場」として位置づけられている範囲になります。</p> <p>次に 17 ページを御覧ください。別府と同様に、まず、条件を満たさなければその場所に建てることできない、根本的な条件について検証します。土地利用について榎合は「深谷衛生処理場」として都市計画決定されている土地であり、現況の土地利用については、旧のごみ焼却施設、旧のし尿処理施設が建っている土地になります。土地利用について榎合は、旧のごみ焼却施設、旧のし尿処理施設の必要範囲の除却により、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に 18 ページを御覧ください。防災について、まず液状化想定については、深谷市地震ハザードマップにおいて、液状化危険度を「液状化の可能性が極めて高い」、「液状化の可能性が高いと考えられる」、「液状化の可能性があると考えられる」、「評価対象外（液状化の可能性がない区域）」という 4 段階に分けて評価をしており、榎合は 4 段階中 2 番目に危険度が低い評価である「液状化の可能性があると考えられる」と評価される区域になります。</p> <p>次に想定震度については、同じく深谷市地震ハザードマップにおいて、関東平野北西縁断層帯地震の際の揺れやすさを震度で 3 段階に分けて評価をしており、榎合は 3 段階中 2 番目に揺れにくい評価である震度 6 強の区域と評価されています。</p> <p>次に浸水想定についてです。浸水想定について榎合は、深谷市洪水・内水ハザードマップにおいて、浸水が想定されない区域となっております。</p> <p>これらのことから、榎合は防災について、液状化危険度</p> |
|----|--|

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>に応じた対策を講じることにより、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に 19 ページを御覧ください。自然環境については、保全地区かどうかについて検証しました。榎合は、埼玉県自然環境保全条例に基づく県自然環境保全地域に指定されていません。自然環境について、榎合はその場所に建てることのできないような要素はなく、根本的な条件を満たします。</p> <p>次に、より多く満たすことが望ましい発展的な条件について検証します。</p> <p>20 ページを御覧ください。将来計画及び地域活性化への貢献について、現在稼働する深谷清掃センターは、深谷市が運営するスポーツ・レクリエーション系施設である深谷グリーンパーク・パティオに温熱供給をしています。新施設においても、組合施設からの温熱供給により相乗的な地域活性化への貢献が期待でき、このことから、榎合は将来計画について、発展的な条件を満たすことが期待できます。</p> <p>次に 21 ページを御覧ください。余熱利用施設の有無について、深谷市が運営する深谷グリーンパーク・パティオがあることから、余熱利用施設が存在し、榎合は関連施設についても、発展的な条件を満たすことが期待できます。</p> <p>続いて 22 ページを御覧ください。インフラ整備費について、榎合は過去に旧のごみ焼却施設が稼働していたことから、給水、排水、ガス、通信などについて、整備されている状況です。幹線道路からの近接性については、片側 1 車線、計 2 車線の道路である主要地方道熊谷児玉線に近接しており、幹線道路との近接性は高く、市町からのアクセスがしやすいことにより、市町の収集運搬費を含めた経済性、利便性が確保されています。このことから、榎合は経済性についても、発展的な条件を満たすことが期待できます。</p> <p>次に 23 ページを御覧ください。以上の検証及び、過去に旧のごみ焼却施設が稼働していたことから、榎合は旧ごみ焼却施設、旧し尿処理施設の必要範囲の除却及び、液状化危険度に応じた対策を講じることにより根本的な条件を満たし、尚且つ発展的な条件を多く満たすことが期待できます。それぞれの項目の検証から、事務局として、建設</p> |
|---------------------------------------|---|

|           |   |
|-----------|---|
| <p>内容</p> | <p>候補地慳合は、建設可能な場所であると判断しました。</p> <p>次に 24 ページを御覧ください。組合圏域における持続可能な廃棄物処理体制の構築において、様々な規模及び種類の災害への対応を考えた場合、別府、慳合はそれぞれ災害に対して、別府は地震災害に対して慳合に比べ、より強靱な地区であり、慳合は豪雨災害に対して別府に比べ、より強靱な地区であると言えます。</p> <p>別府、慳合はそれぞれ異なる災害に対して、他方に比べ、より強靱である特性を持っていることから、それぞれの地区に建設した場合、相互に補完し合うことが可能であり、組合として最も重要であるとする安全・安心かつ安定的な処理が期待できます。</p> <p>25 ページを御覧ください。別府、慳合はそれぞれ建設ができない要素はなく、相互に補完し合える特性を持っており、また、どちらも現工場を稼働させながらの建設が可能な土地です。</p> <p>以上のことから、建設候補地の検証結果を踏まえ、別府、慳合を建設候補地事務局案として検討委員会に対して提案します。</p> <p>長くなりましたが事務局からは以上です。</p> <p>(意見、質問)</p> <p>(委員)</p> <p>10 ページと 18 ページで危険度の段階が違うが、これは熊谷市と深谷市で作成した防災ハザードマップの表現の違いという認識でよろしいか。</p> <p>(事務局)</p> <p>各市での防災ハザードマップの表現の違いによるものです。</p> <p>(委員)</p> <p>9 ページの検証項目「土地利用」の「都市計画」について、「都市計画決定されている」の記載を赤字に強調しているが、強調は必要ないのではないか。新たな土地であれば、手続きに時間がかかるが、都市計画決定すれば良い話である。</p> <p>また、14 ページ、22 ページの検証項目「経済性」の「インフラ整備費」について、「収集運搬費などの経済性は高い」という表現は違うと思う。収集運搬費の経済性</p> |
|-----------|---|

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>が高いのは、運びやすい位置に立地している場合である。ここは、「搬入道路の整備費がかからない」などの表現が良いのではないかと。</p> <p>24 ページの検証結果に「補完する」とあるが、2 施設建設する場合、2 施設は災害時に補完し合う関係性ではないと思う。何故ならば、2 施設共に健全でなければいけないからである。</p> <p>(事務局)</p> <p>お話をいただいた形で中間答申（案）に反映させたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>現時点で 2 施設それぞれの規模は分からないが、建設候補地の区域内に施設が収まるか検証をしておいた方がよい。</p> <p>(事務局)</p> <p>まだ建設候補地として挙がっていないため、正式な形ではありませんが、建設候補地の区域内に施設が収まるか図面上で検証しております。</p> <p>(委員)</p> <p>実際に検証を進める際には、他都市での最新の事例を参考に検証をした方がよい。最近のごみピットも大きくなってきており、公害防止を厳しくすれば、排ガス処理の設備も大きくなる。</p> <p>(委員)</p> <p>大里広域クリーンセンター（不燃ごみ処理施設）は現状のままなのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>大里広域クリーンセンターについては、現在検討中です。</p> <p>(委員)</p> <p>不燃ごみ処理施設の件はこの検討委員会で審議するのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>不燃ごみ処理施設の更新については本検討委員会への諮問事項ですので、来年度検討していきたいと考えております。</p> <p>(委員)</p> <p>本日何か検討委員会として議決を取るのか。</p> |
|---------------------------------------|---|

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>(事務局)</p> <p>2つの建設候補地について、検討委員会としての議決をいただきたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>承知した。</p> <p>結果的に既存施設の敷地が建設候補地となっているが、地域の方々がどのように捉えるのか、理解をどれだけ得られるか、などについては不確実である。</p> <p>周りの住民の方々からは、いろいろな思いや意見が出てくることになると思う。</p> <p>そういった思いや意見をきっちりと押さえていくことが非常に重要である。</p> <p>検討委員会として中間答申をあげる際には、地元の住民の理解を得られるように努めなければならない旨を記載していただきたい。</p> <p>記載を前提として、議決の際に賛否の態度について表明したい。</p> <p>(委員)</p> <p>重要な指摘である。事務局から何かあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>委員のおっしゃるとおり、地元の方々の理解を得ることは重要なことだと事務局としても感じています。</p> <p>地元の方々の理解を得られるように努め、丁寧に説明し、進めていきたいと考えております。</p> <p>(委員)</p> <p>地域の集まりの際には、もし（熊谷衛生センターが）建て替えとなったら、地域の住民のために何を作ってくれるのか、などの意見もあった。</p> <p>地域の住民の方々の中には、様々な意見があることを覚えておいていただきたいと思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>地元の方々の理解を得ながら、一つ一つ丁寧に物事を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、この先建設候補地となれば、熊谷市、深谷市ともよく連携をしながら進めていきたいと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>我々が決めるのは、提示された条件から、建設候補地として相応しいかという意見である。</p> |
|---------------------------------------|--|

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>今は公害防止基準もなければそれぞれの規模も分からない状態であり、どういった施設になるのか不明な段階である。色々なことが決まり、工事発注可能であるものとする。</p> <p>検討委員会は事務局が説明した内容を理解し、建設候補地が不適ではないということをお返事するのみであり、検討委員会は建設地についての責任を取れない。その点は理解いただければと思う。</p> <p>他の委員がおっしゃるように、中間答申では但し書きをすれば良いと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>(深谷清掃センターの) 地元の方々からも、ここに建設することはやむを得ないという意見や、臭気の問題等で出来れば他の場所へという意見など、様々な意見を聞いたことがある。</p> <p>他の委員からの意見にあったとおり、最終的には地元の方々の意見を十分に反映させた上で、「建設地」としていただければと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>どうしても必要な施設であることは当然であるが、しかしながら地元の方にとっては、諸手を挙げて賛成するという話ではないので、今後建設候補地として正式に決定となった際には、地元の方々に寄り添って進めていくことが必要だと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>別府、榎合については候補地として適切であると感じる。</p> <p>(事務局)</p> <p>地元の方の理解を得るという点については、中間答申に文言を加えた形にしていきたいと思います。</p> <p>中間答申の内容について次回検討委員会の際に御審議いただければと存じます。</p> <p>(委員)</p> <p>こういった施設を建設する際は、地元住民の方から大なり小なり反対意見が出てくるのは当たり前のことだと思う。</p> <p>個人的には、災害拠点や温熱利用など、より良い施設となるように整備することが必要だと思う。</p> |
|---------------------------------------|---|

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p>また、排煙が横にたなびくような時には、操業を最小限にするなど、心理的な配慮や対策を含め、地元の方々の理解を得ていくことが重要であると感じる。</p> <p>(委員)</p> <p>建設候補地については事務局案のとおり、別府、檜合と答申すること。ただし、建設候補地について、焼却施設を整備するにあたって、地元の住民の方の御理解が得られるように努めること、という附帯条件を付けて、議決とすることによろしいか。</p> <p>→ (委員一同賛成)</p> <p><b>4 その他</b><br/>(事務局)</p> <p>それでは御説明いたします。</p> <p>まず、本日の委員報酬についてです。委員報酬に関しましては、該当のある方に対し準備ができ次第、口座にお振込みさせていただきます。</p> <p>次に、次回のスケジュールについてです。第5回の検討委員会については、本日お配りさせていただいております開催通知のとおり、令和3年2月19日(金)の開催を予定しております。内容については、中間答申書(案)について御提案をさせていただきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p> <p>その他について以上です。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以上</p> |
|---------------------------------------|---|